

令和4年度 大阪府立布施高等学校第2回学校運営協議会全日制部会 議事録

日 時：令和4年12月5日(月) 15:30~17:00

場 所：校長室

出席者：委員6名（久会長 川添副会長 大里委員 阿部委員 森戸委員 大松澤委員）

事務局：校長、事務部長、教頭、首席2名

1. 学校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 報告

- ・学校説明会、国際交流について

5. 協議

1) 令和4年度学校経営計画進捗状況について

〈国際交流について〉

1年生の生徒全員と台湾生徒との手紙の交換、1クラス2グループを4クラスずつ2週にわたってオンライン交流を実施。生徒はラインなどのSNSツールを使って交流をしている。

- ・英会話についても、喋れなくても相手と意思疎通ができればよいということの評価。
- ・文法を気にする生徒が多いが、英語はつながればよいという認識を与えることが必要ではないか。
- ・東南アジアなど英語が母国語でない人たちのほうが、英会話の相手としては学ぶことが多いかもしれない。
- ・高校入試での英語の外部検定の利用者はどうか。
→ 増えてきている。

〈観点別評価について〉

1年生の教科担当者会議を実施。課題も見えてきている。全体の研修会として、パフォーマンス課題のルーブリックを教科別に作った。

- ・主体的な取り組みの評価をどのように行っているか
→ 答えのある課題をやっていては失敗を恐れ、回答を避けてしまう。すぐに答えを求めてしまう。根本的にこの傾向を変えていきたい。

〈AL型授業の促進について〉

先日も、職員対象にアプリの研修会を実施。生徒のVOD型学習についても1年は4月、2年は8月に行い、昨年度より活用率が上がっている。

〈学校説明会について〉

12月実施予定人数が300人の予定人数で申込者が600人以上に増えた。

- ・今年度はどこの高校も説明会の人気が高いようだ。
- ・布施高校の人気は高い。東大阪全体でも説明会の出席希望者が多い。
→12月説明会は東大阪以外が増えている。

・(希望者が多いのは) ホームページを見ている人が増えているのではないか。アクセス数のカウントはしていないのか。

→していない。昨年度からホームページを外部委託したので、見やすいホームページになっている。

・「ホームページのどのページを見ているか」「なぜ布施高校なのか」等の質問を中学生に聞いてみてはどうか。

→ 次年度のアンケート項目に入れる。

・12月には中学生が真剣に自分の進路を考える時期。

・交通アクセスの便利さをアピールする。何が布施の希望者増になっているか調べる必要がある。

〈地域との連携について〉

今年度も、菜の花忌の取り組みを行う。防災について、12月実施の2年生の防災講演会に近隣住民の皆さんが参加していただけるよう案内をした。

2) スクールミッションについて

前回の協議会で様々な意見を頂いたが、前回提示した案で教育庁に提出し、ご意見はその後作成するスクールポリシー等にいかしたい。

・学校に関わるすべての者、教職員、生徒、保護者、地域の人にどのようにこの内容を共有していくか。今後どのようにしていくかが課題。高校には転勤があり、転勤先の高校にあわせて教育を行っていく。学校が一丸となって作っていく。毎年、みんなで反芻していく必要がある。

・「人と繋がり、地域・社会と繋がり、世界と繋がる力」この順番は良いと思う。グローバルリーダーにつながる世界観が何かをしっかりと考えないといけない。どんな人がリーダーになっていくかを考えないといけない。

・数学的な概念は普遍性があるので、これで数式などを利用して理解していくとみんな理解しやすい。

・自分の身内が外国に暮らしているとその国のことが理解しやすい。例えば、その国の外国籍を取得しなくても、永住ビザがあれば様々な公的支援を受けることができる国もある。

・台湾の人と交流することで日本のことがわかるようになる。例えば台湾では、選挙時の1票の影響が大きい。この違いを考えると国の情勢や日本のことが見えてくる。

・3年生の主権者教育をどうしているか

→クラスごとに弁護士の話を聞く機会を設けた。→ 2年生でも自分たちで公約を作り、どこがよいかを検討して、3年の主権者教育につなげている。

・生徒会の選挙に影響があるか。

→自治会希望者が増えてきている。特に1年生がしっかりとってきている。